

陸軍九師

十一月廿八日

今般全國募兵ノ儀別紙 詔書ノ通り被 仰出徵兵令
被相定候條各 御趣意ヲ奉戴シ未タ至ル迄不洩
布達可致總シテ細大ノ事件ハ陸軍海軍両省へ打合可
申此旨相達候事

但徵兵令及徵募期限ハ違テ可相達事

詔書寫

朕惟ルニ古昔郡縣ノ制全國ノ丁壯ヲ募リ軍國ヲ設ケ
以テ國家ヲ保護ス固ヨリ兵農ノ分ナシ中世以降兵權
武門ニ歸シ兵農始テ分レ遂ニ封建ノ治ヲ成ス成辰ノ
一新ハ實ニ十有餘年來ノ一大變革ナリ此際ニ當リ海

1951

陸兵制モ亦時ニ從ヒ宜ク制セサルヘカラス今本邦古
昔ノ制ニ基キ海外各國ノ式ヲ斟酌シ全國募兵ノ法ヲ
設ケ國家保護ノ基ヲ立ント欲ス汝百官有司厚ク朕カ
意ヲ體シ普ク之ヲ全國ニ告諭セヨ

明治五年壬申十一月廿八日

徵兵告諭

我朝上古ノ制海内舉テ兵ナラサルハナシ有事ノ日
天子之カ元帥トナリ丁壯兵役ニ堪ユル者ヲ募リ以テ
不服ヲ徭ス役ヲ解キ家ニ歸シハ農タリエタリ又商賈
タリ固ヨリ後世ノ變カヲ帶ヒ武士ト稱シ抗顔坐食シ
甚シキニ至テハ人ヲ殺シ官其罪ヲ問ハサル者ノ如キ
ニ非ス抑神武天皇珍彥ヲ以テ葛城ノ國造トナセシ

1952

コリ爾後軍國ヲ設ケ衛士防人ノ制ヲ定メ神龜天平ノ
 際ニ至リ六府二鎮ノ設ケ始テ備ハ保元平治以後朝綱
 頽弛兵推終ニ武門ノ手ニ墜テ國ハ封建ノ勢ヲ為シ人
 ハ兵農ノ別ヲ為ス降テ後世ニ至リ名令全ク泯没シ其
 弊勝テ言フ可カラス然ルニ太政維新列藩版圖ヲ奉還
 シ辛未ノ歲ニ及ヒ遠ク郡縣ノ古ニ復ス世襲坐食ノ士
 ハ其祿ヲ減シ刀劍ヲ脱スルヲ許シ四民漸ク自由ノ權
 ヲ得セシメントス是レ上下ヲ平均シ人権ヲ齊一ニス
 ル道ニシテ則チ兵農ヲ合一ニスル基ナリ是ニ於テ士
 ハ従前ノ士ニ非ス民ハ従前ノ民ニアラス均シク皇
 國一般ノ民ニシテ國ニ報スルノ道ヲ固ヨリ其別ナカ
 ルハレ凡ソ天地ノ間一事一物トシテ挽アラサルハナ

1953

シ以テ國用ニ充ツ然ラハ則チ人タルモノ固ヨリ心カ
 フ盡シ國ニ報ヒサルヘカラス西人之ヲ称シテ血税ト
 云フ其生血ヲ以テ國ニ報スルノ謂ナリ且ツ國家ニ災
 害アレハ人ヤ其災害ノ一分ヲ受サルヲ得ス是故ニ人
 人心カヲ盡シ國家ノ災害ヲ防クハ則チ自己ノ災害ヲ
 防クノ基タルヲ知ルヘシ苟モ國アレハ則チ兵備アリ
 兵備アレハ則チ人々其役ニ就カサルヲ得ス是ニ由テ
 之ヲ觀レハ民兵ノ法タル固ヨリ天然ノ理ニシテ偶然
 作意ノ法ニ非ス然而シテ其制ノ如キハ古今ノ斟酌シ
 時ト宜フ制ヒサルヘカラス西洋諸國數百年来研究實
 踐以テ兵制ヲ定ム故ヲ以テ其法極メテ精密ナリ然レ
 トモ政體地理ノ異ナル悉ク之ノ用ヲ可カラズ故一今

1954

其長ヌル所ヲ取り古昔ノ軍制ヲ補ヒ海陸二軍ヲ備ヘ
 全國四民男兒二十歳ニ至ル者ハ盡ク兵籍ニ編入レ以
 テ緩急ノ用ニ備フヘシ郷長里正等ク此御趣意ヲ奉
 シ徵兵令ニ依リ民庶ヲ説諭シ國家保護ノ大本ヲ知ラ
 シムヘキモノ也

1955